

イースター(復活祭)は毎年 日が違うのはどういうわけですか。

主イエスが贖いの十字架刑に架けられた日は「過越の備え日」、すなわち、ユダヤ暦ニサンの月の 13 日で、当日をグレゴリオ暦に基づく現代の太陽暦で言うと春分の日最初の満月の金曜日でした。そして、それに続く日曜日に蘇られたのでこの日がイースター(復活祭)として祝われることとなったのです。したがって、イースターは最も早ければ 3 月 23 日、遅ければ 4 月 25 日となります。2019 年は西方教会では 4 月 21 日となります。東方教会の一部ではユリウス暦に従っているため、年によって東西両教会では異なる日に祝われます。なお、Easter という言葉はゲルマン民族の春の女神である Eostre に由来します。